

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域との関係性の構築が途上である。今後は地域への発信を積極的に行う必要がある。	地域とのつながりを深める	1. 地域への発信…広報誌の発行の回数を年2回から、3回に増やし、配布範囲を拡大(町内の回覧板にて回して頂く) 2. 地域とつながる仕掛け作り…センターでの催しの案内を出す。地域への催しに積極的に参加する	6ヶ月
2	6	玄関センサーは、6月に撤去している。(カンファレンスにて現状を再検証し必要性を検討した結果)が、今後も、身体拘束に対する意識を高め、より個別ケアの充実を図る必要がある。	身体拘束への知識、理解、実践の向上	1. 身体拘束に関する勉強会の開催 2. ケアプランカンファレンス等においてより個別ケアの検討を行い、利用者個々のニーズ把握、理解を深める。 3. 日々の申し送り等における身体拘束や個別ケアへの意識付け。(日常の中で振り返る機会	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。